

公孫樹

2022年12月発行
第131号
浄土宗慶蔵院
伊勢市小俣町元町1211
TEL 0596 (22) 3726

ユーチューブで慶蔵院の動画を観ることができます。インターネットに「伊勢慶蔵院ブログ・ユーチューブ」と打ち込むと配信されます。第十四回大念仏や念仏行脚の様子、「つばめを守る会」の訴え、住職の十五分法話など、毎月



西里定一 作

挑戦はつづく!!

地藏堂に向って右側、かつて六地藏さんの並んでいた前にあたる場所。ここに井戸を掘りあげたいと、辻井廣美さんに挑戦してもらって三か月が経過…。行き詰っても場所を変え、方法を変えて、困難に立ち向かう。砂地の所まで掘り進み、ここまでできたら大丈夫だろうとパイプの打ち込みに変えると、また石にぶつかって進めなくなる。場所を変えてまた掘り出す…決してあきらめない…辻井さんの執念です。

待ってくれている人がいます。楽しみにして応援に来てくれる人もいます。石の混ざった砂地の地層が、どこまで続くのか…。穴は四メートルに達しています。底の砂は足で集めることができるということです。その中に混じっている石を拾い出し、バケツで地上に吊り上げています。一人ではできません。連携作業です。今のところ砂地の地層が崩れ出すという危険はなさそうですが、油断はできません。慎重に心して作業が進みます。手づくりの梯子は、穴の深さに応じて、継ぎ足して、また継ぎ足して使用しています。身体がようやく一人だけに入れる状態の穴です。

「石が出なくなるまで掘り進める」との決意です。この地層、どこまで続くのか。地の底での作業は暑いですが。すぐに汗びしょりになります。地上に出ると寒くなります。毎日少しづつ、少しづつ、ペースを調整しての作業です。

九日と二十三日の地藏堂開帳祈願の日には、十名の皆さんがお詣りしてくださいました。家内安全、健康増進、闘病平癒などと、ご祈願され、手を合わせ、南無阿彌陀仏と称えられて、「身代わり地藏」さんとのご縁をしつかりと結んでいかれました。また二十三日は、地藏講の皆さんによるご詠歌奉讃回向の日でもありました。昔ながらに五百円をあげて、家内安全を祈り、おさgarいの供米をいただいていた方もありました。このお米は、一緒にいられただいて炊飯して食べていただくことで、ご利益を得るといわれています。

水が出たら、その水を沸かしたお湯で、お茶や薬草茶を飲んでいただきたい…、お供えはお米だけではなく、癌や痛風や血糖値や高血圧、糖尿病などに効果があるとされる野菜などもお供えして、おさがりをもらっていただきたいと思えます。どうぞ願いを結集して、お地藏さんにお詣りください。

12月の行事予定



7日(水)	写経会 男性詠唱隊	午前10時～ 午後7時～
14日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～ 一会館にて 無料 おひねり歓迎
11日(日)	成道会	午後1時～4時
21日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費 500円
21日(水)	地藏講・地藏堂開帳	午後1時半～3時 御祈願受付
3日・17日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
18日(日)	子ども会 クリスマス会	午前10時～一会館にて
10日・24日(土)	英語歌クラブ 講師 八木和美先生	午後1時～3時 一会館にて参加費 1回 500円テキスト月 500円
8日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
9日・23日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて
28日(水)	寺周辺住宅屋根・樋掃除	午前8時半～
31日(土)	浄焚式・除夜の鐘	午後2時～浄焚式 午後9時～仏名会・ 除夜の鐘

慶蔵院豆知識

(28)



十一月も末になると櫛の梢にうっすらと白い雲が浮かび、庭のツワブキは、今年もみごとな花を咲かせている。「見て…、みて、黄色い花を…」ツワブキの独り言が聞こえてくる。

「誰か、蜜を集めに来て…。遠くまで旅するりっぱな蝶々でなくていい。私は手を精一杯伸ばして待っている…。お役に立てたらいいのにな…。小さい蝶々、一緒に、楽しく、ヒラヒラヒラと遊びましょう…」

「そう、そう…。忘れてはならないことも言い添えましょう。もしも自分が病気だと思ったら、徹底的な治療を求めることより先に、考えておかなければならないことがある…。ということとを…。誰でも死ななければならぬのに、あたりまえのことに目をつむっているから、突然の死に取り乱す。最後の、自分らしい死に方こそが、家族や友人や大切な人たちの生き方に影響し、つながっていくということを…考えておかなければならない。しかし死ぬこともまた重労働…。寄り添ってくれる人にどれだけ助けてもらわなければならぬことか…。かんたんに乗り越えることなんかできっこない。寂しい気持ちが消えるわけがない。黄色い花も『いのち』の一部。散る花もまた『いのち』の一部。頑張れ私、ツワブキの花…。黄色く一面に咲きほこれ」

(栄子)



おしらせとおねがい



浄土宗新聞を無料で お渡しします！！

12月号読みどころ

12ページ…日常の仏教語「大丈夫」どこから…。

仏教では、仏様や仏さまを目指し修行している菩薩様を「偉大なる人」という意味で「大丈夫」と呼んできました。そのような仏様や菩薩さまがいつもそばにいたなら、安心できることから、「大丈夫」が「安心する」「問題がなくなる」という意味でもちいられるようになりました。なにげなく普段「だいじょうぶ」と使っているのはこのような背景があったのですね。



（「知恩」誌二月号）柳壇「掲載」

奥田 悦生

一年がこんなに早く過ぎるのは

- ①十二月二十八日（水）業者さんをお願いして、近所の屋根掃除をしていただきます。八時半から寺世話さんに出させていただきます。お手伝いしていただける方はご協力よろしく願います。
 - ②来年の月訓カレンダー・年間行事予定表・年忌のご連絡をお受け取り下さい。
 - ③三十一日（土）除夜の鐘 今年是有志の方のご協力で福引、甘酒の他、ぜんざい、粕汁も用意させていただきます。ご家族皆さんでお越しください
- 仏名会午後九時（本堂の出入りは自由）



☆ご連絡☆

男性詠唱隊による成道会和讃にて法要を行います。暖房がありますから寒くありません。安心してお詣りください。佐藤・山添上人は「笑い」の達人です。楽しいこと間違いありません。免疫力が上がります。

成道会
十二月十一日（日）
午後一時 開白法要 詠唱
午後一時半
慶蔵院住職（法話）
佐藤順晋上人（安楽寺住職 安楽寺東風 落語）
山添真寛上人（浄土宗の劇団ひとり）
「H1法話クランプリ2019」審査員特別賞受賞



住職の健康回復への道のり(一)

内臓調整をすすめていくと、お腹が柔らかくなり、色々な症状が良くなっていきます。眼科、耳鼻科、整形外科、泌尿器科、呼吸器科、内科にかかわる症状が、いつのまにか改善されてくるのですから不思議です。じくじく悩みこまなくなったり、前向きな発想がわき、持続力・忍耐力もアップしたように感じます。読書力もアップしたように感じます。

しかしながら、今、次のステップに進むにあたって足踏みしているのが体重です。76から64キロに変化して以来、63〜64キロの間を上下しています。食事量の判断と間食判断があいまいなのです。「まあ、いいか」という感覚が時々顔を出すのです。暴食をすることはなくなりましたが、間食をカットすることはできていません。いま適量と考えている食事量の三分の一目標を、どのように実行して「63」の壁を突き破ることが当面の課題です

先日先生がベトナムの方に体操を指導しておられる説明を聞いていて、自分の体操中の呼吸法が、まだまだ甘かったことに気づきました。

落語会「いちご亭」 無料で

（面白かったらおひねりをお願いします！）

第2水曜 十四日 午後7時

慶蔵院「一会館」にて

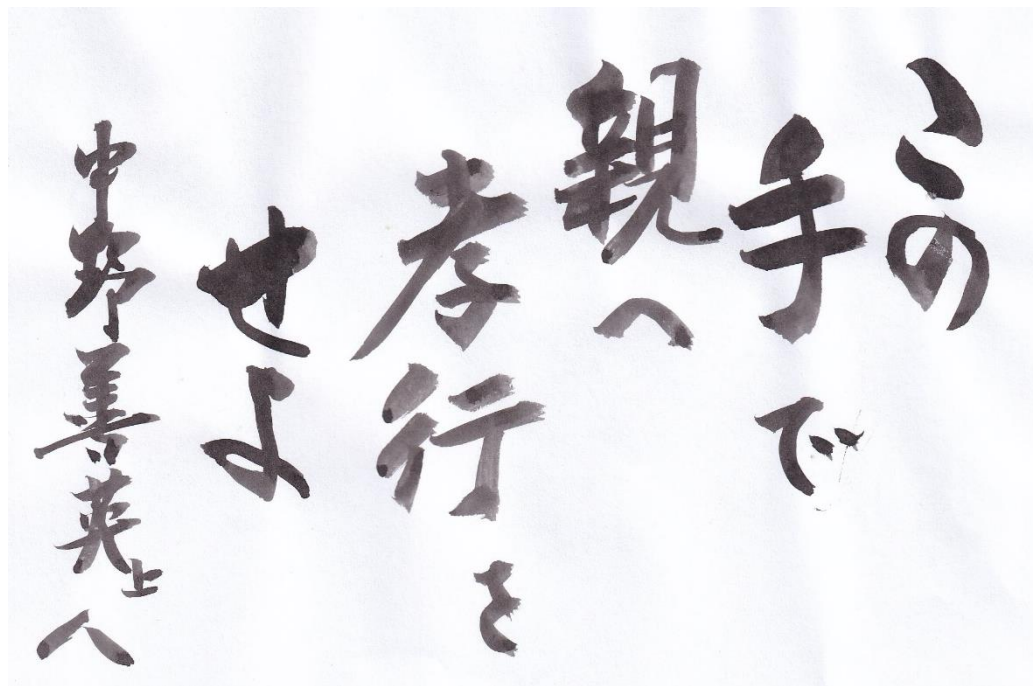
出演 法話 慶蔵院住職



落語

職

南遊亭



教師でもあったから「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンは当然のこととして腹に落ちた。戦争放棄・戦力不保持の憲法九条の精神も、無量寿經の教えに沿うものであり、仏教徒としても守り抜かなければならない宝物であると受け止めてきた。

ところが気心の分かっている教え子から意見されることが多くなってきた。「憲法九条で国が守れるはずがない」「武器を持たずにどうして戦うことができるのか」「日本を攻撃したら痛い目にあうぞ」というだけの武力を持たなければ、攻撃されることになる。抑止論」「徴兵制にして、若いものの根性、叩きなおさんとなつともならん。自分のことしか考えたら人間ばっかりになつてきた。仕事はせんし、付き合ひはせんし。これから日本はなつとなるんやらかと思つわ」話は尽きない。

「僕にできることは座り込みをすることぐらいかな…。武器は持ちたくないし…。それで殺されるというのであれば、そこを死に場所と覚悟を決めて、務めをはたすしかない…。寺の役割は、檀家さん皆に死に方を説くことにあるからな。死んで死なない永遠の生き続けの世界のあることを説くことがあつても殺し方を説くことはないからな…。そんなことをいいながら横井久美子の「戦車は動けない」を思い出した。

一九七二年、相模原の米軍基地からベトナムに送られようとした戦車を百日間、市民が座り込んで阻止した闘い。

『戦車は動けない このまちの橋をわたって 銃口をベトナムに子どもらをねらいうつ 戦争は通さない 戦車は動けない』

二十二日、有識者会議の報告書が提出された。敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有・増強は不可、抑止力の維持・向上のために必要だという。財源は歳出改革と幅広い税目による負担でまかなうというのだから、国民生活はますます圧迫されることになる。先ずしなければならぬのは、この流れを止めることだ。座り込んで。